

茅ヶ崎セントラルクリニック 進 由加 (看護助手)

功 績	患者さんの尊厳に配慮した丁寧な対応で、患者さんのプライドを守った功績。
推 薦 者	細川康子看護部長
推 薦 理 由	患者さんの事を考え、迅速に行動できたことは、普段から患者さんの事をよく見ているからであり、思いを持って接しているからです。この行為は理事長賞に値すると思ひ推薦いたします。

内 容

男性患者のNさんが透析のベッドからトイレに向かわれた際に、間に合わず失禁してしまわれたことがありました。

トイレから出てこないNさんを心配した進看護助手は様子を見に行った際、Nさんから「妻に電話してパジャマの着替えを持ってきてほしい」と言われました。進看護助手はすぐに察して、トイレで待っていてもらい、当院で用意している予備のパジャマをお渡しし、着替えて頂きました。その後、奥様へ連絡し替えの衣類を持ってきていただきました。

その対応の速さはNさんが失禁した事に気付く人もおらず、後日奥様からお礼の手紙をいただいてから初めて気付く職員もいたほど迅速でした。

失禁した方のパジャマ交換などは病院業務の中では当たり前ですが、この迅速な対応でご自分の衣類でご帰宅できたことが、一流企業で取締役まで務められたことがあり、現役時代は政財界や芸能界まで、とても交友関係が広く、社交性があるNさんのプライドを傷つけることなく、お手紙をいただけるほど感謝していただくことに繋がったのだと思います。